

第 69 回岩手県畜産共進会開催規約

第 1 章 総 則

- 第 1 条 この共進会は、第 69 回岩手県畜産共進会（以下「共進会」という。）と称し、本県の家畜改良増殖を促進し、畜産農家相互の研鑽を図ることを目的とする。
- また、共進会において成績優秀な家畜は、農林水産祭参加出品財として推薦する。
- 第 2 条 共進会は、一般社団法人岩手県畜産協会（以下「協会」という。）が主催し、岩手県及び開催趣旨に賛同する者の後援により開催する。
- 第 3 条 共進会の会期、会場及び日程は、下記のとおりとする。
- 総合開会式は、令和 7 年 9 月 3 日の黒毛和種の部において、9 時 00 分から開催する。

出品家畜	黒毛和種	ホルスタイン種	日本短角種	馬	肉牛
日程	9 月 3 日(水)	9 月 26 日(金)	9 月 5 日(金)	9 月 17 日(水)	11 月 8 日(土)
会場	JA 全農いわて中央家畜市場	JA 全農いわて中央家畜市場	JA 全農いわて中央家畜市場	馬っこパーク・いわて	(株)いわちく

第 2 章 出 品 資 格 ・ 条 件

- 第 4 条 共進会の出品家畜は、別表－１の区分、資格、条件による。
- 第 5 条 共進会の出品目標及び申込期限
- 共進会の出品目標及び出品申込の期限は、別表－２のとおりとする。ただし、出品状況により変更することがある。
- 第 6 条 出品申込方法
- 出品しようとする者は、別紙出品申込書 1 通を、それぞれの出品申込期限内に協会に提出するものとする。ただし、肉牛については、全農岩手県本部畜産販売課を経由して協会に提出するものとする。
- 第 7 条 出品者は、搬入の際、登録証明書又はこれに準ずるものを提出し、出品家畜の照合を受けるものとする。
- 第 8 条 出品家畜は、この共進会において主催者が保護するものとするが、不可抗力の損害についてはその責を負わないものとする。
- 第 9 条 出品及び販売に要する経費は、出品者の負担とする。
- 第 10 条 黒毛和種及びホルスタイン種について、担い手育成を目的として、本共進会の出品割当頭数とは別枠で、農業高等学校及び農業大学校からの出品を認めるものとする。
- なお、出品資格、条件、審査及び褒賞については共進会に準ずるものとするが、農林水産大臣賞の授与は行わないものとする。

第 3 章 審 査 及 び 褒 賞

- 第 11 条 出品家畜は、全て審査の対象とし、審査は、各家畜の登録協会が制定する審査基準又は日本食肉格付協会の定める牛枝肉取引規格に準拠して行う。
- 第 12 条 審査顧問、審査委員長及び審査委員は、共進会長が委嘱する。
- 第 13 条 審査の結果、別に定める区分により共進会長が褒賞する。
- 第 14 条 出品者は、出品家畜の審査の拒否又はその結果に対する異議の申し立て若しくは褒賞授与の拒否を行うことができないものとする。

第 4 章 参 観 者 の 心 得

- 第 15 条 共進会進行の妨げになる恐れがあると認められた者について、入場を拒否し、又は退場させることができる。

第 5 章 経 費

- 第 16 条 共進会の運営費は、主催者が負担する。

第 6 章 補 則

- 第 17 条 この規約に定めのない事項については、その都度協議して定める。

別表－１（区分、資格、条件）

（１）黒毛和種の部

区別	区分	月 齢	生年月日	資格・条件	出品頭数
第１区	後継者の部	10～14 か月未満	R6. 7. 4 ～ R6. 11. 3	出品者は農業高等学校及び農業大学校並びに概ね 45 才以下の後継者とし、自家産であるもの	16 頭
第２区	若雌の 1	14～17 か月未満	R6. 4. 4 ～ R6. 7. 3	出品者が続けて 4 か月以上所有し飼育しているもの	15 頭
第３区	若雌の 2	17～20 か月未満	R6. 1. 4 ～ R6. 4. 3	出品者が続けて 7 か月以上所有し飼育しているもの	15 頭
第４区	父系若雌牛群	14～24 か月未満	R5. 9. 4 ～ R6. 7. 3	当該和牛改良組合又は育種組合内で生産された父牛が同一の若雌 3 頭 1 群	6 組 (18 頭)
第５区	繁殖雌牛群	2 産以上		当該和牛改良組合又は育種組合内で生産された 2 産以上の雌 3 頭 1 群で母系を辿り 3 代以上県内で生産されたもの	6 組 (18 頭)
第６区	高等登録群	14 か月以上	R6. 7. 3 以前	当該改良組合で高等登録牛とその娘牛の 2 頭 1 群	9 組 (18 頭)
					100 頭

注 1 出品牛は岩手県産として、他区と重複しないこと。

注 2 第 1 区の出品者が、不慮の事故にあった場合には、その家族が出品することができる。

注 3 第 1 区～第 4 区出品牛の産肉能力は父、母、本牛のいずれかが本原登録牛または高等登録牛であること。
ただし、これ以外で本牛が登録取扱方法に定める本原登録の育種価条件を満たしたものはこれに準ずる。

注 4 第 2 区～第 4 区出品牛の母牛の繁殖能力は、次の（１）（２）のいずれかを満たすこと。

（１）高等登録牛であること

（２）基本または本原登録の場合は、次の条件を満たすもの

①初産月齢は 28 か月齢以内であること

②分娩間隔の育種価または期待育種価が県平均以上であるか、分娩間隔が 400 日以内であるもの

注 5 第 5 区出品牛の産肉能力は、父、母、本牛のいずれかが本原登録牛または高等登録牛であること。
ただし、これ以外で本牛が登録取扱方法に定める本原登録の育種価条件を満たしたものはこれに準ずる。
出品牛は県有種雄牛産子とし、相互の血縁係数が 6 % 以上のもの。

注 6 第 6 区出品牛は直系 2 代にわたる高等登録の母牛と娘牛の計 2 頭をもって 1 群とする。

娘牛の産肉能力については、父、母、本牛のいずれかが本原登録牛または高等登録牛であること。

ただし、これ以外で本牛が登録取扱方法に定める本原登録の育種価条件を満たしたものはこれに準ずる。

出品牛に 2 産以上の産歴がある場合、繁殖能力は次の（１）（２）のいずれかを満たすこと。

（１）高等登録牛であること

（２）基本または本原登録の場合は、次の条件を満たすもの

①初産月齢は 28 か月齢以内であること

②分娩間隔の育種価または期待育種価が県平均以上であるか、分娩間隔が 400 日以内であるもの

初産のみの場合は、初産月齢が 28 か月齢以内であること。

(2) ホルスタイン種の部

部別	区分		月 齢	生年月日	資格・条件	出品頭数
第 1 部	未經産	J サイア娘牛	10 月以上 12 月未満	R6. 10. 1～R6. 11. 30	母牛が検定成績証明申込 中（又は証明済） ただし、母牛が未經産の 場合は、出品牛がゲノミッ ク評価成績を有し、かつ祖 母が検定成績証明済	10 頭
第 2 部	未經産		12 月以上 14 月未満	R6. 8. 1～R6. 9. 30		10 頭
第 3 部	未經産		14 月以上 16 月未満	R6. 6. 1～R6. 7. 31		10 頭
第 4 部	未經産		16 月以上 18 月未満	R6. 4. 1～R6. 5. 31		10 頭
第 5 部	未經産		18 月以上 20 月未満	R6. 2. 1～R6. 3. 31		10 頭
第 6 部	未經産		20 月以上 22 月未満	R5. 12. 1～R6. 1. 31		10 頭
第 7 部	経産	J サイア娘牛	36 月未満	R4. 10. 1 以降	本牛が検定成績証明申込 中（又は証明済）	10 頭
第 8 部	経産		28 月未満	R5. 6. 1 以降		10 頭
第 9 部	経産		28 月以上 32 月未満	R5. 2. 1～R5. 5. 31		10 頭
第 10 部	経産		32 月以上 36 月未満	R4. 10. 1～R5. 1. 31		10 頭
第 11 部	経産	J サイア娘牛	36 月以上 48 月未満	R3. 10. 1～R4. 9. 30		10 頭
第 12 部	経産		36 月以上 42 月未満	R4. 4. 1～R4. 9. 30		10 頭
第 13 部	経産		42 月以上 48 月未満	R3. 10. 1～R4. 3. 31		10 頭
第 14 部	経産		4 歳以上 5 歳未満	R2. 10. 1～R3. 9. 30	本牛が検定成績証明済	10 頭
第 15 部	経産		5 歳以上 6 歳未満	R1. 10. 1～R2. 9. 30		10 頭
第 16 部	経産		6 歳以上	R1. 9. 30 以前		10 頭
						160 頭

注 1 出品区分の基礎となる年齢は、R7. 9. 30 をもって算定する。

注 2 出品牛は血統登録牛とする。（血統登録証明書（写）を添付すること。）

注 3 出品牛は岩手県産で、飼養期間は設けない。

注 4 出品者は、出品牛を所有する者又はその同一家族とする。

注 5 未經産牛で生後 20 月以上のものは、妊娠確実であること。180 日以上で早流産したものは経産牛とみなす。

注 6 検定成績証明申込又は証明済みは以下のとおりとする。

22 月未満の未經産牛は、母牛が検定成績証明申込中又は証明済みのもの。ただし、母牛が未經産の場合は、出品牛がゲノミック評価成績を有し、かつ祖母が検定成績証明済みのもの。

30 月未満の経産牛は、本牛が検定成績証明申込中のもの。

30 月以上 48 月未満の経産牛は、本牛が検定成績証明申込中又は証明済みのもの。

48 月以上の経産牛は、本牛が検定成績証明済みのもの。

注 7 輸入受精卵によって生産された出品牛の母牛の検定成績及びゲノミック評価成績は、当該外国登録団体が発行する証明書により判定する。

注 8 J サイア娘牛とは、わが国の後代検定事業に参加している種雄牛を父にもつものをいう。

注 9 出品牛は、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法第 9 条に規定する耳標を両耳に装着していること。

注 10 第 16 回全日本ホルスタイン共進会衛生対策要領に基づく以下の検査と予防接種を実施の上、第 16 回全日本ホルスタイン共進会出品牛検査・予防接種証明書（別記様式第 2 号）を R7. 9. 26 までに提出すること。

検査 ヨーネ病（カテゴリーⅡの場合）の 1 回目検査

予防接種 炭疽、牛流行熱、イバラキ病、牛異常産、牛呼吸器病

注 11 第 16 回全日本ホルスタイン共進会衛生対策要領別添「第 16 回全日本ホルスタイン共進会におけるランピースキン病対策について」に準じて、以下の必要な措置が講じられていること。

出品牛、同居牛の健康状態の確認 県共会場への搬入の概ね 2 週間前と 72 時間以内とも問題がないこと。

出品者は、出品牛及び資材等の積み込み時、積み下ろし時に荷室内に殺虫剤を噴霧し、吸血昆虫（吸血性アブ類及びサシバエ）を駆除すること。

中 12 出品牛は、県共会場への搬入前に、真菌症等の皮膚病及びイボ等の体表（乳房含む）の異状がないことを確認していること。

罹患牛は、他の牛への感染の恐れがあることから出品を認めない。

(3) 日本短角種の部

部別	区分	資格・条件	出品頭数
第1部	未經産	令和6年生まれのもの	12頭
第2部	初産	令和5年生まれの初産のもの	11頭
第3部	経産	2産以上のも	12頭
第4部	牧野牛群	同一市町村内の牧野で飼養されている、2産以上の経産牛3頭1組	5組 (15頭)
			50頭

注1 出品牛は岩手県産とし総て登記、登録されており他部と重複しないこと。

注2 出品者は出品牛を引き続き6か月以上飼養または管理したものとする。

注3 第4部出品牛は他部と重複しないこと。

(4) 馬の部

種別	類別	資格・条件	出品頭数
農用馬 及び 乗用馬	第1類	育成馬、県内産で1歳の未經産馬	13頭
	第2類	育成馬、県内産で2歳以上の未經産馬	7頭
	第3類	繁殖馬、経産馬で産地は県内外を問わず、産子は血統登録されていて、出品者が引き続き6か月以上飼養または管理していること	10頭
			30頭

注1 出品馬は種馬登録されていること。

注2 年齢は、満年齢とする。

注3 伝染性疾病の発生予防のため、主催者が別に示す防疫対策を実施すること。

(5) 肉牛の部

品種		資格・条件	出品頭数
肉牛	黒毛和種 (去勢・雌)	生後34か月未満で、令和5年1月6日以降に生まれたもので 去勢にあつては、生体重概ね650kg以上のもの 雌にあつては、生体重概ね560kg以上のもの	50頭

注1 屠畜初日（令和7年11月5日）を基準日とする。

注2 出品牛は、最長かつ最終飼養地が岩手県とし登記牛又は血統証明書を有するものとする。

注3 出品牛は枝肉審査終了後、全農岩手県本部が主催するいわて牛いわちく枝肉販売会において販売する。

注4 枝肉における脂肪サンプリングについて

岩手県畜産研究所が牛肉中の脂肪酸組織等を調査するため横隔膜部位及び切開面の一部を極少量サンプル採取する。

注5 光学測定器を用いて測定された、MUFA及びオレイン酸の数値を参考値として、成績に開示する。

なお、あくまで参考値とし、審査の基準とはしない。

注6 枝肉断面の撮影により、ロース部の小ザシを数値化し、新細かさ指数（NFI）を参考値として、成績に開示する。

なお、あくまで参考値とし、審査の基準とはしない。